

# 「新しい市場」

## ～年齢、偏差値、地域を超えて

### 縮小する「18歳市場」 だけにとどまるか 拡大する「新市場」に 乗り出すか

「各高等教育機関は、もはや『18歳中心主義』を維持したままで、現在の規模を確保することができないとの認識が必要である。この認識の下、「18歳」「国内」「対面」にこだわらず、これまで前提として考えられてきた『学生』概念を見直し、多様な学生が入学できるようにすることが必要である」——先ごろ出された「知の総和」答申では、繰り返し大学に「18歳中心主義からの脱却」を促し、その方策として、通信制大学（学部）の可能性に言及している。

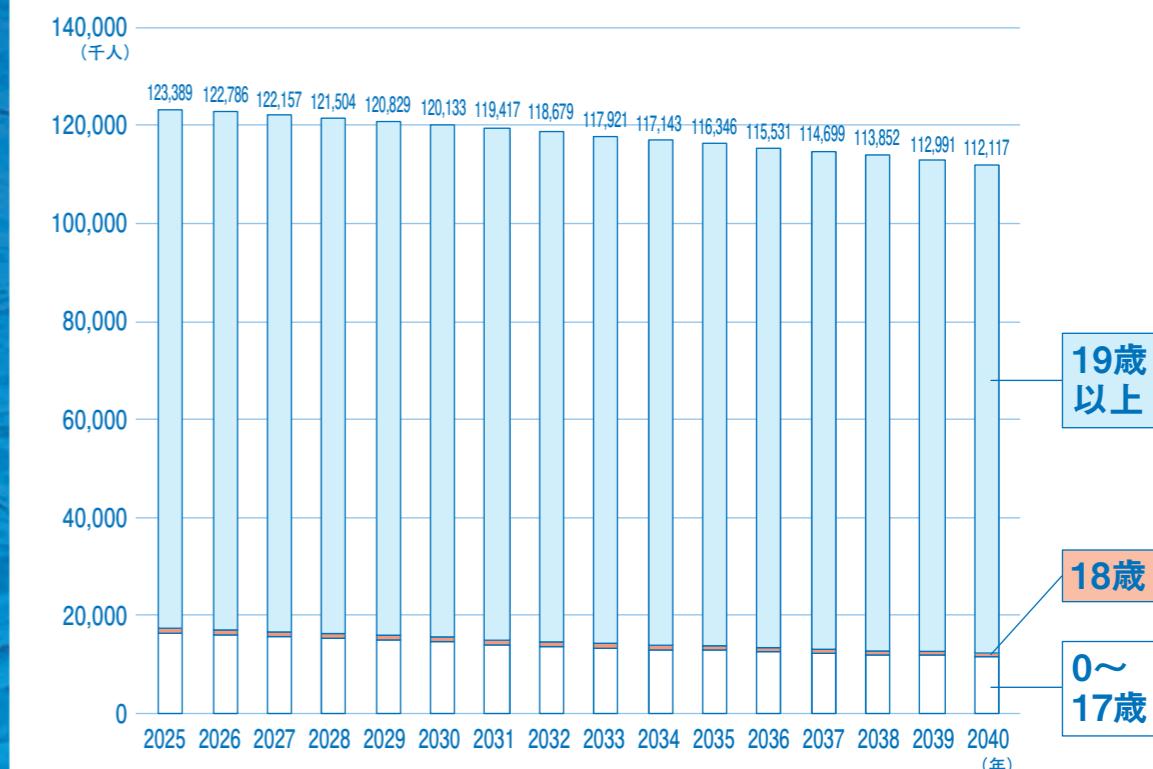
現在、日本で通信教育課程を設ける大学は、50校程度で私立のみ。学生数は20万人弱にとどまる。早期から通信制に取り組む大学によると、「学びに来る」という。2024年、通信制は「ブルーオーシャン」。年齢も、偏差値も、地域も超えて学生が「ゴールド」を獲得したアリゾナ州立大学の通信制の学生数は、6万人を超える。通信制は近年、社会人にとってみた

\* THEオンライン学習ランキングで、ゴールドを獲得したアリゾナ州立大学の通信制の学生数は、6万人を超える。通信制は近年、社会人にとってみた

まらず、若年層の進学者が増加傾向にあり、通学制から通信教育課程へ

18歳人口の急激な減少により、多くの大学は今後の展望を描きにくくなっている。縮小、撤退という選択肢がちらつくものの、「人材育成」という面から対象を拡大すれば、まだ大きな可能性が残されているのではないか。今こそ、新しい市場に向け、乗り出して行こう。

### 2025年以降の日本の人口推計



\*「日本の将来推計人口 令和5年<出生低位(死亡低位)>」(国立社会保障・人口問題研究所)

\* 英国の高等教育専門誌「Times Higher Education(THE)」が発表する、オンライン学習の質を世界規模で評価・測定するランキング。